Dubrovnik
RIVIERA

WWW.VISITDUBROVNIK.HR

JP

E 65
Drvenik
DOLINA NERETVE
Bačinska jezera
Gradac
Vid
Metkov
9
Neretva
A1
Ploče
8
Opuzen
Blace
HVAR
Crkvice
Klek
Sv. Ilija
961m
Trpanj
Kuna
Pelješki
most
Lovište
ŠČEDRO
Viganj
Orebić
Potomje
Janjina
Dubrovnik – Mljet – Korčula – Hvar – Split
Korčula
Trstenik
414
Žuljana
Pupnat
Lumbarda
PELJE
Vela Luka
Smokvica
Zavalatica
118
Blato
Brna
KORČULA
Korčula – Lastovo
Goveđari
Polače
Sobra
120
Pomena
Babino Polje
Split - Vela Luka - Ubli
MLJE
NP Mljet
Lastovo
LASTOVO
Ubli
Skrivena Luka
PP Lastovo

EUROPA
Zagreb
Osijek
Rijeka
Split
Dubrovnik
DUBROVAČKO PRIMORJE
8
M. Ston
Ston
Slano
Prapratno
ŠIPAN
Luka Šipanska
Trsteno
Zaton
Komolac
Dubrovnik – Koločep – Lopud – Šipan
Sobra - Suđurađ - Dubrovnik
Suđurađ
Lopud
ŽUPA DUBROVAČKA
LOPUD-KOLOČEP
Dubrovnik
Mlini
Plat
Cavtat
KONAVLE
Snježnica 1234m
Saplunara
Dubrovnik – Mljet- Korčula – Lastovo
Dubrovnik - Lokrum- Mlini - Cavtat
Gruda
Čilipi
E 65
Molunat

歴史的建造物

15世紀のミンチェタ要塞の建築中は、石が不足し、都市を訪れる者は必ず石をひとつ持ってこなければならないという規則が作られました。

クロアチア観光客に、最も人気で有名なドゥヴロニク市の城壁は、ヨーロッパ内でも、最も美しく堅固な要塞のうちのひとつです。その建築は8世紀に始まり、市と共和国が幾度も脅威にさらされていた、15世紀から16世紀間に最盛期をむかえました。抜け目のない建築技術と名高いドゥブロヴニクの外交力によって、現在でも完璧なものに見えます。16の塔、3つの要塞、6つの砦があり、全長1,940mにして22mの高さがある壁は、壮大な海岸と険しい崖の上に立ち、訪れるすべての観光客を魅了します。

コルチュラの町は中世都市の最も優れた史跡の例の一つで、巨大な壁に囲まれ、その内側には魚の骨のように区切られた路地があります。それは、数々の侵略者も同様に、自然な空気の流れや強風からの保護のために理想的な生活環境を提供する、ユニークな都市規制です。

ストンの城壁は、中国の万里の長城の次に、世界で最も長い保存された要塞跡です。

14世紀のペリェシャツ半島のストン地域は、ドゥブロニク共和国の占有になり、それにより、城壁によって繋がれたストンとリトル・ストンの計画的都市建設がはじまりました。その目的は市民を守ることと、その当時“白い金”と呼ばれ、共和国の利源であった塩製造工場でした。5.5kmにも及ぶ全長による、ストンの城壁は40の塔と5つの砦で強化されました。

数世紀にわたる文化史

聖ブラホの祭典は2009年にユネスコの無形文化遺産に登録されました。

その豊かな建築的遺産とは別に、ドゥブロヴニク・リヴィエラは、その多様で貴重な無形文化遺産も誇りに思っています。

聖ブラホの祭典からご案内すると、ドゥヴロニクの守護聖人の栄光を称える見事な行進は、972年より始まって以来続いています。 ドゥヴロニクの町を片手に持った聖人である聖ブラホの銅像の数々が、町の壁や入り口に飾られ、その伝統的祭典は信仰的な意味での承継を高めます。

モレシュカの剣舞は12世紀のムーア人追放のスペインの祝い事がルーツです。何世紀もかけて、その祭りはコルチュラ島以外、地中海地域からほぼ完全に姿を消し、約400年前に根付き、そしてそれが世界でも独特の文化的現象の一つとなったのです。その印象的な踊りの形態、衣装のデザイン、音楽、そしてイメージは、コルチュラの町のアイデンティティの一部であり、又、クロアチアの世界主義観の反映でもあります。

コルチュラ島の他の町（ププナト、チャラ、スモクヴィツァ、ブラト、ヴェラ・ルカ）でも、伝統の一部となった踊りがありました。それはクンパニヤと呼ばれる騎士の踊りで、旧式の剣、作りこまれた国の衣装、生演奏を特色としています。

リンジョと呼ばれる踊りは、ドゥヴロニク西岸を起源にし、クロアチアの伝統舞踊の独自の形に属しています。ペアがいくつも混合して形成されるその踊りは、ダンス隊のリーダーが1つの踊りの形態から次の形態へとかえるよう呼びかけたり、時にアドリブをしたり、陽気な姿の踊り手たちに指示を叫びながら、輪を成して演奏者達の周りを囲ます。

聖ブラホの祭典、モレシュカ、そしてリンジョがあるこの地域の無形文化遺産の保護リストは、ドゥブロヴニク地方独自の方言とコナヴレの刺繍、そしてラストヴォのポクラドの伝統にて完成されます。

ドゥブロヴニクの栄光は何世紀にもわたり、熟練した職人や町の金細工師の功技により維持されてきました。今日でも、金や銀線細工で作られたドゥブロヴニクの伝統的宝飾は、未曾有の美しさ、特別な製法と、どのファッションにも合う万人受けのデザインで人々を魅了します。”レチネ“、と”プセ“は必ず、あなたの素晴らしい一生の思い出の品になるでしょう。

陸と海での豊かな生物

ドゥブロヴニク地域の植物は明らかに多様で、サイプレス、松、オリーブの木が主に生息しています。また、たくさんのぶどう園が、柑橘類のプランテーション、レモン、オレンジ、もちろんマンダリンオレンジも同様に、ドゥブロヴニク地域全体に広がっています。

渡り鳥のヨーロッパアマツバメはドゥブロヴニク市の保護動物であり、世界で最も早く飛ぶ鳥の一種で長い時間を飛行して過ごします。

絵画のような地中海の風景は、たくさんの動物たちの故郷であり、アドリア海は限りない財産をとりわけ秘めています。それらは、カキ、ムラサキガイ、カニ、タコ、シーバス、鯛、キンメダイなど、(美食家の中でも)有名なものからほんの一部をリストアップしてもこれだけあります。

ラストヴォの島々は、数々の稀な海洋生物、陸上生物、生息環境と同様に、その神秘的な美しさ、際立つ風景の価値、密接した森林と肥沃な土地が、自然公園であることをうたっています。その70%も海であるのと同じくらい、多種の珊瑚の美しさだけでなく、150種もの魚を含んでいることでも有名です。それでもやはり、猟師たちはタラバガニや高級ロブスターを取ると大喜びします。

ムリェト島は、生物多様性の宝庫で、とても多様な野生生物の住処やアレッポマツ、イタイアカサマツ、セイヨウヒイラギガシの原生林をはぐくんでいます。クロアチアの島の最も肥沃な西側は1960年に最初のアドリア海国立公園として保護され、そしてたくさんの特有で絶滅危惧種である生物たちは、その保護の重要性をしるす証拠なのです。

冒険家達を待つ魅惑の自然

地域全体に沿って、が海と陸両方でたくさんのアクティビティができます。 ラフティング、スキューバダイビング、海沿いでのハイキング、ジープでのオフロードの旅、釣り、バードウォッチング、マンダリン狩り・・・たった一つの問題は一番楽しいのはどれかを選ぶこと。 そこで私たちがお勧めするのが・・・

カヤックはドゥブロヴニク海岸で最も人気のアクティビティのひとつで、海からの素晴らしいドゥヴロニクの城壁の壮観な光景が主な理由です。カヤックの際に訪れる価値のある美景のひとつが、ベティナ洞窟で、ドゥブロヴニクから遠くなく、絶対的な安らぎと静けさを楽しむことができる場所です。

カヤック乗りや船乗りは、この地域ではよくいるイルカやマグロの群れに出会うこともできます。

でこぼこの海岸線とたくさんの大小さまざまな島々は、穏やかな航海と、天候が理想的でなくとも海に留まることを可能にさせてくれます。ムリェト諸島はエラフィティ諸島と同様に、安全な船場を提供することに加え、ボートレンタルやボート旅を始めたくなるような独特の自然の美しい景色をみせてくれます。

ペリェシャツ西部地方は、ちょうどいい波を起こす風のため、ウィンドサーフィンには理想的で、そのようなときには、カイトサーファー達は、3kmに及ぶ浅瀬の湾、砂の泉、暖かく強い風があるネレトヴァ川のデルタを度々訪れます。

ペリェシャツ半島のオリーブ樹木、乾燥した台地、ぶどう園は、緑に囲まれたムリェトの大湾と小湾の周りの歩行路やサイクリングロード、バチナ湖群やネレトヴァ川の土手沿いにある道、コナヴレの風景のようなや本物の村々を通る小道、リジュタ川沿いにある粉引き用の水車小屋、ドゥブロヴニク西海岸のそびえる墓石やペリェシャツ半島にあるナポレオンの道のように名前のついた道が、その魅惑的な自然と歴史的美しさで活力をみなぎらせる魅力的な観光地のいくつかです。

地中海料理の最高峰

地中海の食事モデルは、ユネスコの世界遺産に登録され、この地域の食事システムの基礎になっています。うなぎやカエルの捕獲漁船が、美味しい野生の獲物料理、特にオオバン鳥、と同様に提供されるネレトヴァの谷のたくさんのレストランと居酒屋のあるこの地域から食べ歩きましょう。

次はストンへ向かいます。その海からは誰もが大好きな、この地域の有名な特産である新鮮なカキがとれ、ムラサキガイや新鮮な下ろされた魚も捕れます。

ムリェト、シパン、ロプッド、コロチェプの島々は美味しい乾燥した魚で作られた料理や海鮮料理を楽しめますし、ドゥヴロニクとコナヴレ地域のレストランと居酒屋はプロシュート（生ハム）、オリーブオイルに保存されたチーズ、野菜のシチュー、その他の珍味が食べられます。

美味しく健康的なおやつは良質なワインとよく合います。そしてコマルノのワイン、特にペリェシャツ半島からのものは、特に際立ちます。プラヴァッツ・マリと呼ばれる人気品種の南向きのブドウ畑かある原産地の名前をそのままつけられた、ディンガチとポストゥップの高質なワインテイスティングは、クロアチア赤ワインでも最も品質の高いものとして出され、それらはいろんな場面でのお決まりのものとなっています。　白ワイン好きには、ポシップ、グルク、コナヴレの原産品種を楽しむことができるコルチュラ島がお勧めで、そこではマルヴァシヤ・ドゥブロヴァチュカの再生産が始まりました。

コルチュラ島は、古代ギリシャ時代、すなわち紀元前4年から続く、伝統的なワインの成長を誇っています。

ネレトヴァ／生命のオアシス

ネレトヴァ河峡は、クロアチアで最も絵に描いたような場所のひとつで、ヨーロッパに残っているこのような地域の中では、国内で唯一のデルタで、地中海でも3番目（ナイル川とポー川の次）の大きさです。

この透き通った青緑の美景は、常にたくさんの芸術家、写真家、映画監督、無数の観光客や旅行者へ、その地域に住む海岸沿いのすべての住人に対しても同様に、インスピレーションを与えてきました。

肥沃な土と地中海性気候が、集中的な農業発展のための人口を可能にしました。美味しい柑橘類、スイカ、トマト、その他のたくさんの果物が国内外を通して知られています。

BAĆINA LAKES

NARONA MUSEUM

BOAT VESSEL MARATHON

絵に描いたようなバチナ湖は小さな湖の集合体で、この地域を訪れる訪問者たちすべてにとって必要不可欠な場所であるように、たくさんの独特な植物や動物たちの住処なのです。

メトコヴィチ近郊のナローナ美術館は、1995年から1996年にかけて世間を騒がせた発掘跡地に立てられました。 ローマ寺院の遺跡／アウグステウムと17の大理石の彫刻

ボート競技は、ネレトヴァ河峡で生まれたアマチュアスポーツのレースです。メトコヴィチに始まってプロチェで終わり、この競争路は全長22.500mで、クロアチア国内でも最大級で最も注目を浴びるレースのひとつです。

ムリェト／永遠の春の島

最も森林があるアドリア海の島は、オデッセウス自身もかつて魅了された天然林の美しさに得たような静かな喜びのために、植物と動物探索にはもってこいの場所です。

傾斜した湾ヴェリコ（大湖）とマロ（小湖）はムリェト国立公園のユニークな自然現象です。それらは30mの長さの運河と最大0.5mの深さで繋がっており、ヴェリコ湖を海へつなぐ自然にできた海峡は人工的に深くなっています。

ムリェト島最大の魅力といえば絵画のような聖マリア島で、ヴェリコ湖の南部に位置し、12世紀に立てられた聖マリア教会とベネディクト修道院が立ち並びます。

BLACE

ROMAN PALACE

ODYSSEY'S CAVE

サプルナラ自然保護区は、特定の植物とエキゾチックな砂浜がブラセのラグーン（潟）近くまで延び広がっていることが特徴です。

ポラチェの最大で最も安全な港には、クロアチアのアドリア海岸の中でも（プーラ円形競技場とディオクレティアヌス宮殿に次ぐ）三番目に最も保存されたローマの遺跡である、温泉付きのローマの宮殿があります。

オデッセウスの洞窟は天井が壊れている洞窟で、奥には浜があり、そこから小船で入るか泳ぐかで洞穴に入れます。見るからにちょうどこの場所で、彼の船が難破し、心奪われてしまったオデッセウスは7年間ずっと、彼の妻ペネローペと故郷を思い、悲しさとノスタルジアに浸りながら開けた海を眺めました。それと同時に、ポセイドン神の娘で美しい乙女のカリュプソーは、愛情とそれを超える寂しさで彼のことを見つめたのです。

その豊かな緑に加え、島はたくさんの特有の生き物たちと25も異なるランの品種の生息場所にもなっています。

ムリェトの魔法のような雰囲気を一日中吸収した後は、島の居酒屋を訪れたり、地元の珍味を楽しんだりするのが一番おすすめです。

コルチュラ島／石の宝石

コルチュラ島の時を感じさせない美しさ、そして、その非現実的な地形や非常に豊かな文化と歴史遺産に魅せられましょう。

石版画の何世紀にも及ぶ古い伝統があるため、コルチュラの町は、フィレンツェ、ルネサンス、バロックの職人たちにより豪華に装飾されて建てられました。この“野外美術館”では趣のある路地設計、広場、城壁、教会、宮殿、美術館、そして、偉大な旅商人マルコ・ポーロの家を見ることができます。

プロイズドゥ島は岩や小石でできた海岸があり、その北部は息をのむような場所です。ターコイズ色の水に浸かった白い石でできた浜があります。滑らかな石は日光浴には最適で、この島には住人がいないため、穏やかさと静けさを愛する人たちは必ず楽しめます。

PUPNAT HARBOUR

VELA SPILA

ST. MARK'S CATHEDRAL

LINDEN WALKWAY

ププナティ港はコルチュラの町から15kmにも及ぶ深い入り江です。豊かな地中海の植物にかこまれ、湾の奥の小石の浜は、常にアドリア海の最も美しい浜に数えられています。

ヴェラ・スピラはヴェラ・ルカの郊外にあり、ヨーロッパ内で最も重要な古代遺跡のひとつです。その洞窟は紀元前2万年前ごろの石器時代初期から人が住み続け、これまで、ギリシャ人、ローマ人、東ローマ人やその他の人々に利用されてきました。

コルチュラの守護聖人である聖マルクの大聖堂は、信仰生活の中心であり、旧市街の中でも最も美しいゴシック・ルネッサンスの遺跡です。15世紀と16世紀の間、最高の技術を持つ国内やイタリアの職人たちに建てられ装飾され続けました。

ライムの木大通りは1911年に植えられ、ブラトのメイン通り全体に沿って広がっています。この並木通りは1kmにも及び、ベルリンにある通りに続き、2番目のヨーロッパ最長のライムの並木道です。

ラストヴォ島／クリスタル級の夜空がある島

大昔には、ローマ人たちはこの島を“皇帝の島”／“アウグシュタ・インシュラ”、と呼びました。そしてこの最も新しいクロアチアの自然公園は、私たちの想像を絶する美しき島や平穏と静けさのオアシスとも呼ばれています。

たくさんの湾があるきれいな海岸線に、海沿いまで広がる豊かな緑、透き通った海水・・・それらが抵抗することなどできないこの島の魅力なのです。

ラストヴォ島は本島からの移動にとても便利で、ありえる限りの汚染、光害からさえも避けられます。そして、ロマンチックさが欲しい方達に必見の、素晴らしい夜の満天の星空を見ることができます。

通常とは異なる煙突があるストンの家々／煙突がラストヴォの光景にある一定の趣をあたえます。島中でも、二つ同じ煙突がある家を見るのは稀で、古い家は特にそうです。

LIGHTHOUSE STRUGA

真のクルーソー好きタイプの旅行者は、いくつかあるラストヴォ有名な灯台の訪問や宿泊を忘れたりはしないでしょう。 グラヴァタ灯台／ラストヴォの東の小さい島に上に。 スーシャツ／海岸から遠く離れた海岸の上に。 ストルガ／スクリヴェナ・ルーカ“隠れた港の入り江”の入り口に。

ラストヴォのポクラドは、クロアチアやそれ以上で最も古いカーニバルのひとつで、1390年に最初に言及されました。ムーア人による島の包囲攻撃の失敗を思い出させるものとして祝われ、その独自性のためにクロアチア共和国の無形文化財のリストに含まれました。

数々の入り江、崖、浅瀬、そしてもちろん、素晴らしい美しさが凝縮された島ーラストヴィヤクスィがあるギザギザの海岸線、これらすべてがダイバーにとって真の水中の楽園となるのです。岩のビジェラックは、南アドリア海の最も有名なダイビングの場所として、特に区別されています。

ペリェシャツ島／素晴らしいワイン帝国

旅行者たちは、広大なブドウ畑の田園風景、オリーブの木々、ターコイズブルーの入り江、伝統的なダルマチア地方の特産品、そして、あなたの視覚や味覚を堪能させるご馳走に魅了されてしまいます。

ディンガチは、ペリェシャツ南斜面の天から与えられたワイン生産地域で、太陽と土が共にあることとワイン生産者たちの助けによって、クロアチアの最も有名なワインが造られるのです。

ペリェシャツの主な魅力のひとつは、間違いなく神秘的な小石と砂の浜、きれいに透き通った海水、松の木陰・・・それ以上のことなどあるでしょうか？

ヴィガニュ付近のペリェシャツ海峡の一番狭いところで吹くミストラル（北西風）は、熱烈なサーファーみんなの夢の場所です。

OREBIĆ

STON SALTERN

現在も、ストンの町にある有名な塩の製造工場では、塩は戦争が行われていた古代ギリシャ・ローマ時代からの製造方法で生産しています。

絵のようなオレビチの町は、船乗りたちの伝統を誇りに思っており、それらの話は船長たちの家々や海事博物館で語られています。北部のほうは聖エリアスと、最も高い丘と島で最も人気のハイキングコースに囲まれていて、南側からはペリェシャツ海峡の澄んだ海により嘆いています。

フランシスコ会の修道院と天使のマリア大聖堂はオレビチの町の上にあり、コルチュラ、ムリェト、そしてラストヴォの島々の忘れられなくなる景色を見ることができます。

ドゥブロヴニク／アドリア海の真珠

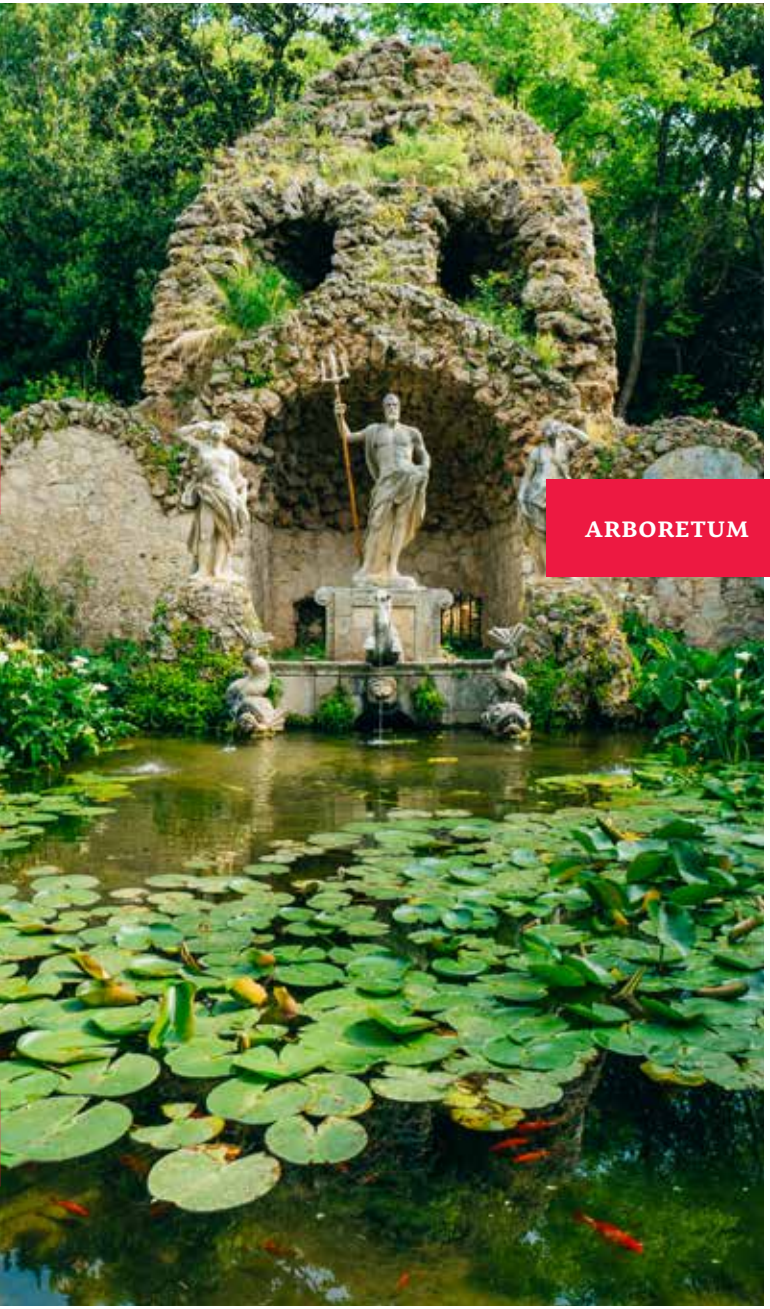
この古代都市の宝と先祖代々受け継いだ貴重なものがあふれる美術館へ訪れたい、というのを聞いたことがある人は、まだそんなにはいないでしょう。

要塞や、町の門、海岸までにかかる力強い石の壁をはじめて目にして、ドゥブロヴニクのその壁に感動しない人は珍しいです。

地元の人や世界中の旅行客にも最も人気の浜辺遊歩道はプラツァで、つまり、人気のストリートです。その道を通り抜けると、旧総督邸、聖ブラホ教会、スポンザ宮殿、オノフリオの大噴水、オルランドの柱などのいくつかの歴史的建物へあなたを案内し、その有名な通りは、数々の映画や“ゲーム・オブ・スローンズ”、“スター・ウォーズ”、“ロビン・フッド”などのシリーズの背景にもなりました。

KOLOČEP

CAVTAT



ARBORETUM

MLINI

ドゥブロヴニクの海と海岸の優秀な防衛地域である、エラフィティ諸島や多島海は、ドゥブロヴニク市街に近いところに位置しています。そして、ほかの小さい島々も同様に、コロセプ、ロプド、シパン、ジャクリャンの大きい島々で成しています。

カヴタツはラツ諸島の緑で多い茂った丘の上にある古い町で、その魅力はドゥブロヴニク共和国の時代からの建物により強調されます。このユニークな町はその囲まれた環境により何千年もの旧都市の歴史の痕跡を残してきました。

トルステノは世界で最も古く、アドリア海岸で唯一の樹木園です。樹木園の中には、ローマ神ネプチューンの名前をつけた1736年のバロック式の噴水があります。

ドゥブロヴニク・リヴィエラの最も美しいオアシスのひとつに、ドゥブロヴニクから10kmしか離れていないズパ湾があり、その５つの町（クパリ、スレブレノ、ムリニ、スブリャナ）に小石の浜や隠れた湾、遊歩道、ホテル、そして別荘などがあります。

出版者：Dubrovnik-Neretva County Tourist Board

制作：Prospekt Ltd

写真：Dubrovnik-Neretva County TB (Renzo Kosinožić, Andrija Carli, Boris Kragić, Dubravko Lenert, Davorka Kitonić, Marin Veraja, Zoran Marinović), Korčula TB (Neven Fazinić), Blato TB (Dino Cetinić), Vela Luka TB (Boris Kačan), Lastovo TB (Stjepan Tafra), Konavle TB (Karmen Zorović), Mljet TB (Odisej Hotel), Đuđa and Mate Restaurant (Zvonimir Ferina), Novak Elčić, iStockphoto, Shutterstock

Dubrovnik
RIVIERA

DUBROVNIK AND NERETVA COUNTY
TOURIST BOARD

Dubrovnik-Neretva County Tourist Board
Šipčine 2, 20000 Dubrovnik, Croatia

Tel. +385 20 324 999
info@visitdubrovnik.hr
WWW.VISITDUBROVNIK.HR

© Copyright 2018.
Dubrovnik-Neretva County Tourist Board

CROATIA
Full of life

Dubrovnik
RIVIERA

DUBROVNIK AND NERETVA COUNTY
TOURIST BOARD